

7月のはりま読書の会で紹介された本

書名	著者	請求記号（所蔵あり）
ねじまき烏クロニクル 第1部～第3部	村上 春樹／著	ブン Fムラ
建具職人の千太郎	岩崎 京子／作	91 イワ
鯉のいる村	岩崎 京子／作	
海渡る北斎	神山 典士／文	721 コ
朝のピアノ	キム ジニョン／著	929 キ
埴谷雄高・吉本隆明の世界	斎藤 慎爾／責任編集	910.2 ハ
九十歳。何がめでたい	佐藤 愛子／著	914.6 サ
九十八歳。戦いやまず日は暮れず	佐藤 愛子／著	914.6 サ
老いはヤケクソ	佐藤 愛子／著	914.6 サ
項羽と劉邦 上	司馬 遼太郎／著	ミヤバブン Fシハ 1
項羽と劉邦 中	司馬 遼太郎／著	ミヤバブン Fシハ 2
項羽と劉邦 下	司馬 遼太郎／著	ミヤバブン Fシハ 3
ザリガニの鳴くところ	ディーリア・オーエンズ／著	933 オ
はたけの絵本	いわむら かずお／著	E イワ

～ 読書会 memo ～

今回の参加者は、見学の方を含め5名の方にご参加いただきました。

『かさこじぞう』や『十二支のはじまり』などでおなじみの岩崎京子の『建具職人の千太郎』は、江戸時代にわずか7歳で奉公に出されながら、徐々に立派な建具職人となる物語。

伝説の浮世絵師・葛飾北斎の作品についてどっぷりと浸る事のできる『海渡る北斎』。北斎の魅力は日本にとどまらず、モネやゴッホなどの海外の芸術家にも衝撃を与え、ジャポニスムの先駆けとなりました。北斎の作品の中でも最も有名な、波を打つ描写が印象的な浮世絵「神奈川冲浪裏」を描くきっかけとなったであろう、凄腕の名工についても知ることができます。

作家、キム・ジニョンによる独特の美しい情景が詩となって、生み出された作品『朝のピアノ』。かのノーベル文学賞を受賞したハン・ガン氏も、この美しく儂い世界観を大絶賛していたのだそうです。以前も紹介された資料ですが何度読んでも、その言葉ひとつひとつが心に刺さるようで、是非一読をしてほしいとおすすめをいただきました。

作者が年齢を重ねる毎に強く感じる自身の「老い」について、普通なら深刻に考えてしまう身体の病気についてもユーモアを交えながら表現し、何処か共感出来て、何故か少しくスッと笑ってしまう佐藤愛子の『老いはヤケクソ』。この作品を読めば、性別年齢関係なく誰でも元気を貰える、そんな素敵な作品です。

次回は 8月17日(日)午前11時からの予定です。

※変更となる場合があります。HP等をご確認ください。